

樹木観察のポイント・樹木の姿

3 花や種子の観察

Point

- ・花の大きさや形をみる
- ・種子の大きさや形をみる
- ・動物や昆虫との関りも



花の観察では、樹木の繁殖(受粉)の仕方を理解することができます。

ツバキの花は、鳥や虫に花粉を運ばせるために大型の花びらと蜜を備えています。ツバキの花に指をつっこむと指先が濡れることから、蜜の存在に気付くことができます。ケヤキの花は、風に花粉を運ばせるため、蜜も花びらもなく目立ちません。種子の観察では、樹木の繁殖(種子散布)の仕方を理解することができます。コナラの種子(ドングリ)は、動物に散布させるために栄養を蓄え大型です。カエデの種子は、風に散布させるために ^{よく}翼を備え小型です。このように、花や種子の特徴は、樹木の繁殖だけでなく、樹木と動物や昆虫との関わりを理解するポイントとなります。

参考: 平野隆久(2007)よくわかる樹木大図鑑、永岡書店
岩瀬徹・川名興(1991)校庭の樹木、全国農村教育協会